



## 母校紹介

新校舎、体育館の完成に続いて、グラウンドも土が入れ替えられ、真新しいバックネットが登場、テニスコートも全面、オムニコートとなるなど整備が進みました。在校生たちは今年4月から、素晴らしい環境で、体育の授業に、部活動にと励んでいます。



長良川の堤防に立って、久しぶりに母校を眺めた時、40年以上前に卒業した同窓生にとっての「違和感」は白亜の新校舎や新体育館だけではありません。手前の桜並木にも驚くはずです。堤防から校舎が、校舎から堤防がもっと見通せたはずでした。実は昭和46年当時は、まだ高さ1メートルほどの若木でした。



今年の春も、満開の桜並木はグラウンドにピンクの雲をたなびかせていました。



# 同窓生と母校をつなぐ



「校史資料室」の壁には歴代校長の顔写真が並んでいます。あなたの時の校長は？



真新しい校舎で、同窓生にゆかりがある場所といえば、「校史資料室」でしょう。貴重な資料や写真で、140年を超える歴史を振り返ることができます。事前に申し込んでおけば、見ることもできるそうです。



硬式野球部が第50回選抜高校野球大会(昭和53年)などに出場し、誇らしく甲子園を進行する写真が展示してあります。



吹き抜けと採光で開放的な図書室です。



図書室の一角に「卒業生の著作」コーナーが設けられています。年代ものは校史資料室に保存されています。在校生諸君、先輩たちの本を読んでくれるかな？



各教室の後ろの書棚に、同窓会の「会報」を見つけてました。学校側によると、先輩たちが率直に記した寄稿文などは「キャリア教育のかっこうの教材」とのこと。先輩たちの生き様の中から、ぜひ人生の宝物を見つけてほしいものです。

口絵

# 1 母校紹介

## 同窓生と母校をつなぐ

新校舎、体育館の完成に続いて、グラウンドも土が入れ替えられ、  
真新しいバックネットが登場。  
テラコートも全面、オムコートとなるなど整備が進みました。



長良川堤防から

4 挨拶 創立百四十周年を超えて 同窓会 会長 森川 幸江

5 祝辞 「同窓会総会」をお祝いして 岐阜高校 校長 丹羽 章

6 挨拶 当番学年を代表して 運営委員会 委員長 木方 伸一郎

7 総会・懇親会 次第

アトラクション紹介

8 小石亜希子 独唱

議案・規約

9 第1号議案／第4号議案／第3号議案

10 第2号議案

11 第5号議案

12 平成25年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 決算書

13 平成26年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

14 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

特集

# 15 創立百四十周年 記念事業を挙行

特集

# 16 野球部創部百二十周年を記念

## 三校で親善試合

特集 元PTA会長・校長座談会

# 18 今も変わらぬ岐高生気質

Message

## 20 恩師からのメッセージ

柳瀬道夫／横山勢津男／渡邊利昭／中谷達美／大竹克昌／大野昭義／横山泰

# 26 同窓生のあところ・このころ

44 「岐高だより」(第114号、平成26年3月1日)より

48 平成26年度 大学合格者

校歌

49 岐阜県立岐阜高等学校 校歌

50 応援団々歌 凱旋歌

51 岐高女校歌 姫小松

52 岐阜県民の歌

# 53 会報協賛広告

Message

# 141 運営委員会のグラフ&ひとつと集

144 平成26年度 同窓会総会出席者名簿

148 平成26年度 同窓会総会運営委員会名簿

149 広告協賛の御礼・編集後記



## 創立140周年を超えて

岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 森川幸江

平成二十六年度の岐阜高等学校同窓会が多数の同窓生の皆様のご出席をいただき、盛大に開催できましたこと心よりお礼申し上げます。

平成二十五年度は岐阜高等学校の創立百四十周年という記念すべき年で伝統と歴史を感じた年でした。記念式典は現在の岐阜高校の主役である生徒たちによる運営で厳粛に式典が挙行されました。

同窓会会長に選任いただくから岐阜高校を訪れる機会が多くあり、そこで生徒たちの活動する姿を見ました。また学校外でのスポーツ、音楽、科学などの分野での生徒たちの活動も知ることが出来ました。その中で若者のあふれ出るエネルギーを頼もしく感じ、そのような生徒たちの先輩であること誇らしく思ってきました。

このような優秀な生徒たちが担う、日本の将来に期待が持てると思ってきました。ですが、今の政治を見るにつけ、頼もしい生徒たちが生きることとなる日本の将来に不安を感じざるを得ません。これまで日本が堅持して来た

平和主義のもとでの、いくつかの原則が法律の解釈で変更されようとしています。その解釈の決定方法にも問題があります。これからの時代のことは今

決定権を持つ私どもの責任です。物の資源を持たない小さな国の日本は外国からの信頼、尊敬を大きなよりどころとしてきました。そして私たちはその信頼に込めている誇りを持って来たと思っています。

創立百四十年という岐阜高等学校の歴史は、同窓生の方々がつくりられた歴史でもあります。すばらしい同窓生

の方々の存在あったればこそその百四十年です。現在も過去も岐阜高等学校の同窓生は様々な分野で活躍され、リーダーとして活躍された方、またされている方の名前は枚挙にいとまがありません。そのような同窓生がつくられた歴史を大切にしたいと思います。

同窓会は戦前卒業された大先輩と大卒に入学したばかりの後輩が世代を超えて集い、語り合う場です。楽しい会となることを期待しています。

最後になりましたが、忙しい中、本日の開催のためにお骨折りに下さった昭和四十六年卒、五十六年卒、平成三年卒の運営委員の皆様にご心から感謝申し上げます。





## 「同窓会総会」をお祝いで

岐阜県立岐阜高等学校 校長 丹羽 章

平成二十六年年度の岐阜高校同窓会総会が森川幸江会長様はじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により、多数の会員のご出席を得て盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素より本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、本校は、昨年十一月四日に、古田肇岐阜県知事をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、厳粛な中にも盛大に、創立百四十周年の記念式典を挙行いたしました。その式典を挟む前後の期間の中で、待望の校舎や体育館・武道館が新築されるとともに、校舎前のプロムナードの整備やグラウンド・テニスコートの改修工事が行われ、全国にも誇ることができる教育環境が整いました。また、空調設備につきましても、同窓会から多大なるご支援を頂きましたこと心から感謝申し上げます。同窓生の皆様方には、どうかお気軽に新装なった新しい岐阜高校の校舎の見学に訪れていただきませうお願いいたします。

そのような素晴らしい学習環境の中、本校の生徒たちは「百折不撓・自強不息」の校訓の下、文武両道をモットーに輝か

しい歴史と伝統を受け継ぎながら、日々学習や部活動にと励んでおります。今春の進路結果は、同窓会誌にお示しさせていただきました。部活動でも、運動系・文化系ともに限られた時間を有効活用して、各種大会やコンクールで様々な賞を受賞するなど県内外で活躍しています。

具体的には、運動系で、硬式野球部が秋季高校野球岐阜大会において久しぶりにベスト8に入りました。また、陸上競技部生徒が男子五千メートル競歩で東海総体を勝ち上がり、全国高校対抗選手権大会に出場しました。水泳部の生徒が女子百メートル平泳ぎにおいて県総体で優勝し、全国高校総体や国民体育大会に出場しました。柔道部の生徒が県総体を勝ち上がり、東海高校総体に出場しました。テニス部が男女団体においてともに県総体で三位入賞を果たしました。

文化系では、書道部が全国高校総合文化祭に作品を出品し、特別賞を受賞しました。また、囲碁将棋部の生徒が全国囲碁選手権大会岐阜大会において女子個人で優勝し、全国大会に出場しました。また、自然科学部生物班が、全国高校総合文化祭自然科学部門で最優秀賞を獲

得しました。音楽部がNHK全国高校音楽コンクールで金賞を受賞し、東海北陸ブロックコンクールに出場しました。吹奏楽部が県の吹奏楽コンクール大編成の部で金賞を獲得しました。

また、部活動ではありませんが、各都道府県から選抜された四十七の高校が競い合った「第三回科学の甲子園」に二年生有志が三年連続出場し、トップに千八十点満点で三点差という僅差で総合第二位の快挙を成し遂げてくれました。前年度の総合九位から比べてもよく頑張ったと思います。今年度は後輩たちが優勝を目指して頑張ってくれものと思います。このように、岐阜高校生は、皆さんの期待に応えるべく、いろいろな分野で大活躍をしています。今後とも、本校の教育活動に絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会のお世話いただきました木方伸一郎運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和四十六年、五十六年、平成三年卒業の皆様のご尽力に感謝するとともに、併せて会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。挨拶いたします。



## 当番学年を代表して

平成26年度同窓会総会運営委員会 委員長 木方伸一郎

本日は、たくさんの方々のご出席を賜り、幹事当番である昭和四十六年、昭和五十六年、平成三年の卒業生を代表して、心よりお礼申し上げます。

運営委員になっていただいた皆さんには、大変なご苦労をおかけしました。心より労をねぎらいたいと思います。ほんとうに御苦労様でした。

百周年を迎える宝塚歌劇団のモットーは「清く、正しく、美しく」ですが、百四十一周年を迎える岐阜高校の同窓会総会運営のモットーは、「広く、楽しく、慎ましく」です。できるだけ、多くの同窓生に広く参加のお声をかけをし、当番学年が手作りで楽しい同窓会となるよう、できるだけシンプルに、華美ではなく慎ましく温かい

同窓会総会をめざしてきました。慣れない運営ゆえ、「お・も・て・な・し」は、いたらぬところが多々あるかと思いますが、同窓のご友情にお許しを甘える次第でございます。

ところで、岐阜高校での三年間は、皆さまにとつてどんな三年間であつたでしょうか。私たち昭和四十六年卒の岐阜時代は、学生運動がさかんなころで、無気力・無関心・無責任のいわゆる「三無主義」の風潮があり、受験生ブルースが歌われる時代でした。今、私たちは還暦を過ぎ、六十年以上生きてきました。その中のたった三年間でしたが、今振り返ると、その三年間は、社会の中で生きるスタートであり、そこで多くの友人と出会いました。その多くの友人といっ

しよに、この当番の仕事を楽しみ、また、この縁で十年下や、二十年下の同窓と出会うことができました。今日もなつかしい友人たちとの再会や、新しい出会いがあると思います。ご出席いただいた皆様にも、なつかしい再会や新しい出会いを楽しんでいただければ大変幸いに存じます。

最後になりますが、本日出席を賜りました皆さま方、ならびに広告の協賛やご寄付をいただきました関係各位には心から御礼申し上げます。

# 平成26年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 総会・懇親会 次第

平成26年6月8日(日)  
於 岐阜グランドホテル

## 1. 総会 (11:00 ~ 12:00)

開会の辞

黙祷(同窓生で亡くなられた方々のご冥福を祈る)

同窓会会長挨拶 会長 森川 幸江

学校長挨拶 岐阜高等学校 校長 丹羽 章

議案審議

第1号議案 平成25年度 事業報告

第2号議案 平成25年度 決算報告ならびに監査報告

第3号議案 役員改選

第4号議案 平成26年度 事業計画(案)

第5号議案 平成26年度予算案

御 祝 辞

閉会の辞

## 2. 懇親会 (12:00 ~ 14:00)

開会のことば 平成26年度同窓会総会運営委員会 委員長 木方 伸一郎

乾 杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会長 尾関 良平 様

祝電披露

恩師紹介

### 【アトラクション】

小石亜希子(平成3年卒) 独唱 (ピアノ伴奏 寺元智恵)

アヴェマリア(カッチーニ)

私が町を歩くとき(プッチーニ)

辺りは沈黙に閉ざされ(ドニゼッティ) ほか

平成27年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 本田 勝(昭和47年卒)

校歌斉唱

閉会の言葉 平成26年度同窓会総会運営委員会 副委員長 早矢仕 直彦

以上

## アトラクション

## 小石亜希子 独唱

(ピアノ伴奏：寺元智恵)

## プログラム

## 〔春の声(ヨハン・シュトラウス)〕

ウィーンフィルのニューイヤークンサートでもお馴染みのこの曲、実は最初は歌として作られました。

## 〔アヴェマリア(カッチーニ)〕

その美しいメロディーで、数あるアヴェマリアの中でも特に広く知られた一曲です。

## 〔私が町を歩くととき(プッチーニ)〕

オペラ「ラ・ボエーム」より、主人公ミミの親友ムゼッタが、元カレの前でこれ見よがしに歌う有名なアリアです。

## 〔辺りは沈黙に閉ざされ(ドニゼッティ)〕

オペラ「ランメルモールのルチア」より。  
有名なアリアです。

※曲目は変更になる場合があります。



## ■プロフィール

大阪府立大学総合科学部卒業  
名古屋大学大学院教育学研究  
科博士前期課程修了。臨床心  
理士、声楽家。現役臨床心理  
士としてさまざまな現場で活  
躍する傍ら、声楽を松澤恵美  
氏に師事し、クラシックから  
ポップス、ミュージカルナン  
バー、童謡・唱歌までジャンル  
を問わず、数々の名曲を世に  
広める活動をしている。ライ  
ブやコンサートはじめ、各種イ  
ベントやディナーショーなど出  
演多数。透明感があり、軽や  
かで親しみやすい歌唱と、臨  
床心理士ならではの、肩の力  
を抜いて楽しめ、それでいて奥  
が深い選曲は、老若男女問わ  
ず、多くの人々から支持を得  
ている。

歌う前に…  
小石亜希子(平成3年卒)

このたびは卒業生の皆様の前で歌わせていただけるという素晴らしい機会を頂戴いたしましたこと、心より感謝申し上げます。

私は現在、臨床心理士および声楽家として活動しています。『二足の草鞋』に多くの方は驚かれるのですが、実は、心理学と芸術には、あるいは臨床心理士として心理臨床に向き合う姿勢と演奏家として芸術作品に向き合う姿勢には、多くの共通点があり、共通点を楽しみつつ、自由気ままに活動しております。

気ままといえば、心理学を志すようになったのも、声楽家を志すようになったのも、「あみだくじで心理学と出た」とか「冗談半分でそのかされた」といった気ままなきっかけからでした。ただ、自分で選んだからには、たとえ時間がかかっても気長に付き合っていこうという姿勢だけは、いつも忘れずにいたように思

います。

二十年以上たった今、その姿勢を貫いてよかったなあと思います。同時に、その軌跡を遡ると、岐阜高校で「真に優秀な子、秀でた子の行動パターン」を興味深く観察していた日々がありました。そこで得られた、「(楽しみながら、上手に息抜きもしながら、でもやるべき時はとことん頑張る)をを目指す」という姿勢が、自身の生き方の核になりました。さらに、臨床心理士として、あるいは声楽家として「生きるということ」を考える時の土台にもなっていると思う時、十代の多感な時期に、岐阜という素晴らしい環境に身を置けたことがいかにありがたいことだったのかと、感謝の念に堪えません。

本日は、岐阜を通じて繋がっている皆様とご縁に感謝し、皆様の今後ますますのご活躍を祈念し、精一杯心をこめて歌います。どうぞお楽しみください。



第1号議案 平成25年度事業報告

第1回役員会	4月24日(水)	岐阜高校
同窓会総会	6月9日(日)	岐阜グランドホテル
在京(首都圏)同窓会総会	7月7日(日)	ハイアット・リージェンシー東京
第2回役員会	9月12日(木)	岐阜高校
創立140周年記念式典・講演会	11月4日(月祝)	岐阜高校
創立140周年記念野球大会	11月9日(土)	岐阜メモリアルセンター・長良川球場
第3回役員会	平成26年2月4日(火)	岐阜高校

第4号議案 平成26年度事業計画(案)

第1回役員会	4月30日(水)	岐阜高校
同窓会総会	6月8日(日)	岐阜グランドホテル
在京(首都圏)同窓会総会	6月29日(日)	東京ドームホテル
第2回役員会	9月(予定)	岐阜高校
第3回役員会	平成27年2月(予定)	岐阜高校

第3号議案 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員改選(案)

名誉顧問	古田 肇 昭和41年卒	副会長	後藤 寿彦 昭和47年卒
顧問	杉山 幹夫 昭和20年卒	〃	杉山 正裕 昭和49年卒
〃	野々垣 孝 昭和31年卒	(兼会計)	
〃	*森川 幸江 昭和40年卒	〃	遠藤 宏治 昭和49年卒
名誉会長	丹羽 章 昭和49年卒	〃	*村瀬 幸雄 昭和50年卒
会長	水谷 邦照 昭和41年卒	〃	神谷真弓子 昭和51年卒
副会長	玉井 博祐 昭和38年卒	〃	杉山 文康 昭和54年卒
〃	大松 利幸 昭和40年卒	(兼会計)	
〃	木方伸一郎 昭和46年卒	監査	*伊在井みどり 昭和54年卒
〃	木村 容子 昭和46年卒	〃	佐伯 淑子 昭和55年卒

氏名の前に\*印のある方(3名)が新任候補者、それ以外の方は再任候補者です。

## 第2号議案 平成25年度 岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 平成25年 4月 1日  
至 平成26年 3月31日

## 【一般会計】

## 収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,689,890	2,689,890	
同窓会入会費	1,074,000	1,074,000	① 3,000 × 358 名
受取利息	326	363	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	3,764,216	3,764,253	

## 支出の部

役員会費	50,000	46,822	3回
慶弔費	50,000	36,287	弔電、供花等
祝儀、饗別	200,000	70,000	在京同窓会、送別会祝儀等
總會運営費	300,000	300,000	平成26年度總會運営委員会補助金
旅費	100,000	90,000	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	1,270	在京同窓会へパンフレット送付
ホームページ関連経費	200,000	121,410	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
手数料	10,000	4,385	振込手数料、同窓会残高証明発行手数料
校史資料室整備費用	300,000	304,017	ビデオのデジタル処理代等
次年度繰越金	2,544,216	2,790,062	
計	3,764,216	3,764,253	

## 【特別会計】

## 収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	1,775,876	1,775,876	
十六銀行株式配当金	530,072	529,234	株式保有数81,424株
受取利息	235	318	普通預金利息
計	2,306,183	2,305,428	

## 支出の部

次年度繰越金	2,306,183	2,305,428	
計	2,306,183	2,305,428	

## 【總會特別会計】

## 収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	4,279,886	4,279,886	
平成25年度總會運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	運営費貸出金の返済金
平成25年度同窓会總會余剰金	-	1,811,620	平成25年9月受け入れ
受取利息	359	697	普通預金利息
寄付金	-	86,766	昭和51年3月卒業生有志
計	5,480,245	7,378,969	

## 支出の部

平成26年度總會運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	運営費一時貸出金
ステージ演台費用	1,638,000	1,596,000	演台・司会者台・サイド花台・校章
校史資料室空調設備	1,000,000	892,500	空調設備
校史資料室整備費	250,000	161,332	応接セット、遮光カーテン
振込手数料	-	420	
次年度繰越金	1,392,245	3,528,717	
計	5,480,245	7,378,969	

上記の通りご報告申し上げます。

平成26年3月31日

平成25年度岐阜高等学校同窓会

会 計 寺 島 健  
会 計 杉 山 正 裕

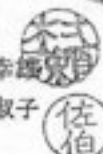


上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

平成26年3月31日

平成25年度岐阜高等学校同窓会

監 査 村 瀬 幸 雄  
監 査 佐 伯 淑 子



第5号議案  
平成26年度 岐阜高等学校同窓会 予算案

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月31日

## 【一般会計】

## 収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	2,790,062	
同窓会入会費	1,206,000	⑧ 3,000 × 402 名
受取利息	363	普通預金利息
雑収入	0	
計	3,996,425	

## 支出の部

役員会費	50,000	3 回
慶弔費	50,000	
祝儀、餞別	200,000	在京同窓会等
總會運営費	300,000	平成27年度總會運営委員会補助金
旅費	100,000	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	200,000	管理料、ドメイン利用料等
手数料	10,000	振込手数料
校史資料整備費	350,000	録画・録音媒体のデジタル化処理等
次年度繰越金	2,726,425	
計	3,996,425	

## 【特別会計】

## 収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	2,305,428	
十六銀行株式配当金	529,234	株式保有数81,424株
受取利息	318	普通預金利息
計	2,834,980	

## 支出の部

次年度繰越金	2,834,980	
計	2,834,980	

## 【總會特別会計】

## 収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	3,528,717	
平成26年度總會運営費繰入金	1,200,000	運営費貸出金の返済金
受取利息	359	普通預金利息
計	4,729,076	

## 支出の部

平成27年度總會運営費繰出金	1,200,000	運営費一時貸出金
次年度繰越金	3,529,076	
計	4,729,076	



## 平成25年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会總會 決算書

自 平成24年9月1日  
至 平成25年8月31日  
(単位:円)

## 1. 収入の部

科目名	平成25年度		平成24年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
本会預り金収入	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計より運営資金として
本会受入金収入	300,000	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会費
会費収入	5,500,000	4,688,000	5,000,000	4,480,000	@8,000×588名
広告料収入	4,000,000	6,910,000	5,500,000	7,480,000	
祝儀収入	0	30,000	0	88,000	
会報販売収入	0	0	0	3,000	
受取利息	0	476	0	604	
合計	11,000,000	13,128,476	12,000,000	13,551,604	

## 2. 支出の部

科目名	平成25年度		平成24年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
総会費	4,500,000	5,184,345	5,400,000	4,693,498	ホテル飲食代、会場設営費、撮影代として
懇親会費					
謝礼金	150,000	-80,000	150,000	30,000	総会演奏者
印刷費	4,000,000	3,386,465	3,000,000	2,407,785	会報、案内状、封筒、払込票、その他
通信費	300,000	127,700	600,000	612,659	総会案内状、広告依頼書等発送費、電話代等
会議費	200,000	218,232	300,000	326,472	各部会会場代、打合せ費
事務所費	100,000	180,000	100,000	300,000	事務所借り上げ代
事務費	100,000	157,530	200,000	312,638	コンビニ収納手数料、文具代など
振込手数料	100,000	134,619	100,000	15,225	経費の振込手数料
反省会費	200,000	550,510	400,000	350,525	反省会、次期引継ぎ費用
活動費	100,000	0	200,000	7,520	会報取材費用など
本会預り金返還支出	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還
会費返金支出	0	79,000	0	32,000	11名
雑費	50,000	18,455	100,000	6,780	会費収入振込料負担
予備費	0	0	250,000	0	
余剰金	0	1,811,620	0	3,256,502	総会特別会計へ寄託
合計	11,000,000	13,128,476	12,000,000	13,551,604	

上記の通り、ご報告申し上げます。

平成25年9月10日

運営委員長

矢島 潤一郎



財務部長

高井 博文



上記について監査をした結果、適正に処理されていることをご報告いたします。

平成25年9月10日

監査

小池 秀男



監査

佐伯 淑子



## 平成26年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

## 1. 収入の部

(単位:円)

科目名	平成26年度	備 考
	(予算)	
同窓会 預り金	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
同窓会 受入金	300,000	一般会計より総会費として
会 費	4,800,000	8,000円×600名
広 告 料 収 入	4,300,000	100,000×12口 50,000×22口 30,000×30口 20,000×55口
祝 電		
受 取 利 息		
会 報 販 売 収 入		
合 計	10,600,000	

## 1. 支出の部

(単位:円)

科目名	平成26年度	備 考	
	(予算)		
総 会 費	懇 親 会 費	4,500,000	ホテル飲食費、会場設営費
	謝 礼 金	150,000	総会演奏者、司会謝礼
印 刷 費	3,500,000	会 報 / 発行部数1千部	
通 信 費	200,000	総会案内状、広告依頼書発送費	
会 議 費	200,000	各種打ち合わせ会議	
事 務 所 費	100,000	事務所使用費等	
事 務 費	150,000	コピー代、事務用消耗品費等	
振 込 手 数 料	150,000	会費収納手数料等	
反 省 会 費	300,000	反省会、次年度引継会	
活 動 費	100,000	会報取材費用等	
預 り 金 返 還	1,200,000	特別会計へ運営費預かり金の返還	
会 費 返 金			
雑 費	50,000		
予 備 費			
余 剰 金			
合 計	10,600,000		

## 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第 1 条** (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第 2 条** (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第 3 条** (組織) 本会は次の会員を以て組織する。
- 正会員
- 岐阜県岐阜中学校卒業生
- 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
- 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
- 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
- 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
- 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
- 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
- その他役員会の議を経て、会長の承認した者
- 特別会員
- 現職員・旧職員
- 第 4 条** (役員) 本会は次の役員をおく。
- |         |     |             |
|---------|-----|-------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 役員会に於て推挙する。 |
| 名誉会長    | 1名  | 母校校長        |
| 会長      | 1名  | 総会に於て選出する。  |
| 副会長     | 若干名 | 総会に於て選出する。  |
| 監査      | 若干名 | 総会に於て選出する。  |
- 第 5 条** (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・役員会を招集し、その議長となる。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
- 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
- 監査は会計を監査する。
- 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第 6 条** (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第 7 条** (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第 8 条** (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第 9 条** (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第 10 条** (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第 11 条** (支部) 本会には支部を設けることができる。
- 第 12 条** (同窓会事務局所在地場所) 岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。

(平成25年6月9日 一部改定)



特集

記念式典と  
記念講演会

創立百四十周年  
記念事業を挙行

式典に千四百人

明治六年（一八七三年）に創立された本校は昨年、百四十周年を迎えました。十一月四日午前には、真新しい本校体育館で記念式典が開催され、在校生を含む約千四百人が参加。オープニングのスライドショー「映像による岐阜高校」では、懐かしい旧校舎と歴史を刻み始めたばかりの新校舎それぞれの学校生活が紹介されました。

式典では、創立百四十周年記念事業実行委員会の森川幸江委員長（昭和40年卒）の式辞に続き、丹羽章校長が「輝かしい歴史を振り返って先人の努力に敬意を表します」と挨拶。生徒たちに向かっては「新たな時代を切り開くリーダーたれ」と訴えました。



岐阜新聞(2013年11月5日)より

吉村作治さんが講演

同日午後には、エジプト考古学の吉村作治・早稲田大学名誉教授を体育館に迎えて記念講演会が開かれました。吉村さんはスライドを使って、大型木造船「太陽の船」などの発掘の成果を紹介するとともに、早い時期から目標を決めて努力することの大切さを語られました。

記念誌を刊行

創立百四十周年に合わせて記念誌「新校舎とともに」(A4判、九十六ページ)が刊行されました。この十年間で最大の出来事は「校舎の改築」とし、三十二億五千万円余をかけ、平成二十四年三月に完成した新校舎の紹介を中心に、百三十周年以来、十年間の学校教育や部活動の歩み、十年のぎふ清流国体での本校生徒や職員の活躍などをたどっています。



特集

記念野球大会

# 創部百三十周年を記念 三校で親善試合

## 古豪復活を約束

岐阜高校創立百四十周年記念事業の一環で、硬式野球部創部百三十周年記念野球大会が十一月九日、長良川球場に中京大附属中京高校、県立岐阜商業高校を招いて開かれました。三校は昭和三十七年の第三十四回選抜高校野球大会にそろって出場した伝統校です。

開会式では、丹羽章校長が「岐阜高校は真剣に甲子園出場を目指している」と古豪復活を約束し、観客を沸かせました。また、この時の選抜大会に出場した硬式野球部OB会の森嶋靖雄会長（昭和38年卒）が三校に寄付金目録を贈呈しました。

大会はOB会の杉山幹夫顧問（昭和20年卒）の始球式で始まり、

第一試合では岐阜高が中京大中京高に14対2で敗れ、続く第二試合では県岐阜商高が中京大中京高を4対1で破りました。ちなみに五十二年前の選抜では、県岐阜商高は二回戦で敗退、岐阜高は準々決勝で中京大中京高（当時は中京商高）に6対0に敗れ、中京大中京高も準決勝で敗退しています。

## OB三人が寄稿

今回は長い歴史を刻んだ野球部から、平成3年、昭和56年、同46年卒の三人のOBに、当時の思い出や、近況、伝統への思いを寄せいただきました。



岐阜新聞(2013年11月10日)より

旭丘との定期戦に燃えています  
大曽根淳さん（平成3年卒）



岐高に入学し、野球部に入って早々に、後にドラゴンズのエースとして活躍する今中慎二投手を擁

する大阪桐蔭高と練習試合がありました。僕たち1年生は観戦するだけでしたが、先輩たちは三振を重ね、試合は5回コールド負け。全国のレベルの高さ、甲子園出場の難しさをまざまざと実感した日でした。

野球部の3年間では、2年生の夏の県大会でベスト8に進出したのが最高です。8番、ファーストで出場し、緒戦では三塁打を放ちました。

同期で主将を務めた阿部浩典君



後輩諸君は、勉強との両立は大変でしようが、最後まで続けてほしい。やるからには甲子園を目指してください。

が立教大に進学し、野球を続けました。ここで名古屋の愛知県立旭丘高校出身者とチームメイトになったことが縁で、「当時のメンバーで、岐阜対旭丘の交流試合をやるう」ということになりました。軟式ですが、10数年前から毎年夏に交互の主催で定期戦を開催しています。最近では僕らの学年だけでも足りず、後輩にも応援してもらっています。昨年はナゴヤドームで写真でやりました。勝敗は五分五分でしょうか。

野球部の3年間で絶対にあきらめない精神と、根性だけは培われました。歴史は真似できるものではありません。百三十周年を誇る野球部の歴史を光栄に思います。

**父も目指した甲子園**  
永井 誠さん（昭和56年卒）



創部百三十年という歴史はただただすごいと思います。その一翼に、私だけでなく、実は父の永井弘もかかわっています。父も岐高に入学し野球部に入りました。ただ、病気をしたため退部し、結局、軟式野球部で活動したそうです。その後、教員として岐高に赴任し、今度は硬式野球部の監督を務めました。私は子どもの時に県営球場で父の監督ぶりを間近に見て、岐阜野球部にあこがれていました。

私たちが入学する昭和53年春の選抜大会で先輩たちが甲子園に出場しています。そのこともあって、私たちの同期には、中学で活躍した選手が多く、当然のように、甲子園を目指しました。

3年になり6月の県選抜大会で優勝し、最後の夏に写真には心期するものがありました。私はセンターを守り、打順は1、2番、あるいは6、7番で、1、2回戦を順調に勝ち上がりましたが、残念ながら3回戦で中京商業に敗れました。野球漬けの毎日でしたが、いい仲間ができて、本当に素晴らしかった3年間でした。

岐阜野球部の特色は、限られた時間内での効率よい練習です。頭を使った賢い野球で、昭和53年が最後になっている甲子園出場への可能性を探ってください。

**伝統に感謝した3年間**  
永瀬久光さん（昭和46年卒）

結果的にチームとしては目立った成績を残せませんでした。3年生の時は、練習試合で連戦連勝し、夏の県大会で写真に向けて、下馬評は高かったと記憶しています。僕はファーストで、5番でした。僕らの同期に、岐阜短大付属（現在の岐阜第一）の湯口敏彦投手がいました。めっっぽう球が速くて、

甲子園でも春・夏ともに活躍し、後に巨人に入るのでありますが、僕らは彼にも打ち勝つつもりでした。しかし、緒戦の多治見工に敗退してしまい、本当につかりしました。

多くのOBが練習試合を見に来てくれることや、大学に進学した先輩が指導に来てくれることなどは、長い歴史を誇る伝統校だからと、いつも感謝していました。県大会前に、OBたちにウナギ井をおごっていたり、ただく伝統は、今でも続いているのではないですか。ただ、部員の父母が部活をサポートするようなことは、僕らの時代にはなかったことです。

長く甲子園から遠ざかっているの、後輩諸君にはぜひ行ってほしい。ただ、岐高の場合はどうしても練習時間に限りがあります。真夏の過酷な暑さに負けない体力をどうつくるか。難しい課題ですが、ぜひ工夫して克服してください。





特集

座談会

# 今も変わらぬ岐高生気質

## 元PTA会長・校長座談会（みんな昭和46年卒！）



——本日は岐阜高校の歴代PTA会長から嶋崎吉弘さん（平成13年）、木方伸一郎さん（同18年）、鷺見博信さん（同19年）の三人と、昨年春まで二年間、校長を務めた鹿野孝紀さんに集まってもらいました。四人とも岐高OBであることはもちろんですが、いずれも昭和四十六年卒の同窓生です。一つの学年からこんなにも母校の要職を輩出したのは稀有な例ではないでしょうか。最初に、みなさんの在校時とPTA会長、校長時代を比べての感想から聞かせてください。

**嶋崎** 幼稚園から高校までPTA会長をやりましたが、母校だったのは岐高だけ。中学までと比べ、総会への親の参加率も高く、運営は非常に楽でした。校舎は古いままで、とても懐かしく思いました。違ったのは四割を占める女子生徒の数。僕らの時代は四百八十人中に女子生徒は八十人だけで、十ク

ラスのうち六クラスが男子クラスでした。

**木方** 一番違うなと思ったのは、女子生徒のスカートの丈で、岐高に入った娘にも、「お前、スカートが短すぎへんか」と言ったことがあります。女子生徒が多いせいか、学校祭への取り組みのテンションが高かったですね。僕らの時代は斜に構え、悪友たちと「疲れたなあ」「何もやりたくない」などと言い交わしたものでした。

**鷺見** 現役の頃は、成績が悪くて、毎朝、いやだいやだと思いつながら岐高の門をくぐったものですが、PTAの役員時代は、活動が楽しいこともあって、母校の門をくぐるのがうれしくてしかたがなく、精神状態の違いに我ながら驚きました。

**鹿野** OBが岐高の校長となった

のは富成侑彦先生以来で二十三年ぶりです。着任してみたら、昔と変わらないものが三つありました。制服、高山市上宝にある林間学舎「友学館」、僕らには「山の家」の方が通りますが、そして岐高生気質です。ただ、学校を取り巻く社会や、全県一区から学校群を経て六学区制となった入試制度の変化が、岐高生を若干小粒にしたように思いました。

——鷺見さんは岐高だけでなく、岐阜県や東海四県のPTA会長も務められたとか。

**鷺見** 県の会長には幹事校の会長六人の互選で選ばれました。東海地区会長は四県の持ち回りですが、ちょうど岐阜県の番に当たりますが、ちょうど岐阜県の番に当たりますが、引き受けることになりました。県の会長にはいくつかの充て職があ

るし、東海の会長は全国高P連の理事も兼ねるので、東京への出張も多く、結構忙しかったですね。県と東海の会長は嶋崎君もやったよね。

——PTA会長や校長時代に一番印象に残っているのは。

**嶋崎** 高校生たちが研修で「山の家」を使う前に、PTAで実施する一泊の清掃奉仕がまさにメインイベントでした。バスで行き、清掃後に食堂で催した夜の宴会が楽しかった。

**木方** 僕も「山の家」ですね。行きバスの中で、自己紹介をしても



嶋崎吉弘さん

らいました。みなさんおしゃべりが上手で、全員の紹介が終わるころには「山の家」が目前でした。PTA総会などでも感じるのですが、みなさん聞き上手ですから、しゃべる方も気分がよくなるのです。

**鷺見** 「山の家」の研修は高校生たちに仲間意識を育むのが目的ですが、PTAも「山の家」の奉仕活動を通じて結束力が高まりました。

**鹿野** ちょうど僕らが入学した年に完成し、僕らは「山の家」一期生ですから、それだけ愛着が強くなります。それとは別に、赴任した六つの高校の中でも、岐高の学祭祭が一番活発で、千人以上の保護者が来校されたこともうれしかったです。

**嶋崎** そういえば、「ほける」が無くなっていました。僕らの時代と



木方伸一郎さん

の大きな違いです。

**鷺見** 「ほける」といっても分からない人もいるでしょう。先生が休むと、その日の時間割を変更して、四時限や五時限で終了し、帰宅できる岐高だけの制度でした。学校側も先生のやりくりで、大変だったろうと思います。「ほけた」日には柳ヶ瀬へ映画を観に行ったこともあります。

**嶋崎** お巡りさんに「授業をさぼったのか」と呼び止められ、「岐阜高校には「ほける」という制度があるんや」と言い返しました。

——岐高や後輩たちへの希望や期待を教えてください。

**鹿野** 中学ではトップクラスの成績でも、岐高に入れば一番から四百番までの順番がつく。でもそれは岐高の中での話。君たち自身の



鷺見博信さん

力が無くなった訳じゃない。自分を信じて前へ進んでほしい。それと、校則が無きに等しいという伝統はいつまでも守ってほしい。

**鷺見** 僕自身、現役の頃は後ろから数えて何番という成績でしたが、PTA会長までやらせていただきました。高校時代は友達づくりや部活にと、自分の楽しみを見つけて心が社会に貢献しようという心意気も持ってほしい。

**木方** 岐高での成績が人生の最終勝負ではありません。岐高で学び、遊んだことは、卒業してから役に立ち、人生にプラスになります。それを期待して頑張ってください。

**嶋崎** 高校時代にはかできないことと、高校時代だからこそできることをやってほしい。勉強にも部活



鹿野孝紀さん

にも恋愛にも、悔いを残すなど言いたい。

**鷺見** 後輩たちにも、この座談会を読んでもらえますか。

**鹿野** 同窓会の会報誌は格好のキャリア教育になると考え、在職時に全クラスに配布しました。先輩たちの成功や失敗の足跡にふれることは、いい刺激になり、勇気をもらえるとと思います。

——鹿野さんが校長時代に岐高の入試に導入した「硬式野球部枠3%」の成果を期待しています。

**鹿野** 新しい入試制度を活用して、文武にすぐれた生徒をとり、岐高の起爆剤になればと考えました。影響は野球部にとどまらず、様々な方面に及ぶでしょう。もちろん、四、五年のうちに甲子園へも行ってくれると期待しています。